

定期年間授業計画

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科日本の伝統と文化 科目 将棋

教科：日本の伝統と文化 科目：将棋

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者（ 1 2 3 4 5 組：外部指導員 ）

使用教科書（ なし ）

教科 日本の伝統と文化 の目標：

【知識及び技能】 伝統的文化に接し、実際にその技能を学びとる。

【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの技能の歴史や背景を考察しそれを基づき再現、行動できる。

【学びに向かう力、人間性等】 礼儀作法の大切さやお互いに学び合う姿勢を学ぶ。

科目 将棋 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の伝統的な技能を身近で感じとる。日本の伝統的な技能を実際に行う。	日本の伝統的な技能を実際に行うことでそれぞれの技能に基づく歴史や背景を考察し細やかな日本文化について考察する。	礼儀作法を身に付け日本人の民族性やお互いに学び合う姿勢を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	○将棋の起源 ○将棋のルール ○将棋の礼儀作法 ○日本文化の将棋 ○対局と礼儀作法の実践	○将棋のルーツを探り、現在の形になった歴史を追う ○駒の動かし方、基本ルールを習得する ○「礼に始まり礼に終わる」対局の一連の流れに含まれる礼儀作法を身に付ける ○ルールや礼儀作法に注目し、そこに反映している日本人の民族性と日本文化を考察する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	24
	○上達法 1 「先を読む」 ○上達法 2 「定跡」 ○上達法 3 「格言」 ○上達法 4 「大局観」①	○「三手読み」を理解し、実践する ○先人が研究して作り上げた初手からの進め方「定跡」を学ぶ ○具体的な指し手を教示する ○心構えや格言を身に付け対局に活用する ○将棋の対局を見て、形成の優勢を判断できるようにする	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	28
3 学 期	○上達法 4 「大局観」② ○世界の将棋	○対局を見て、形成の優劣の度合いを判断できるようになり、その打開策を考えられるようにする ○チェス、中国象棋など世界の将棋について調べ、将棋との違いや文化的背景について学ぶ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	18
							合計 70